



慶應義塾大学ビジネス・スクール

パーク 24 株式会社

5

当社は駐車場事業のプロとして、いつも社員に言っていることがある。

「クルマをクルマだと思っはいけない。クルマを人間だと思え」

これはクルマを人間だと思わなければ、新しい発想は生まれません。クルマにも車庫という家があり、登録という戸籍があるのだから人間と一緒にいる、という発想から生まれてきた言葉だ。

10

現在、日本には全部で約 7,000 万台のクルマがある。これは日本の人口の半分以上を占める数字だ。クルマを第三の性と言ってもいい。

クルマほど便利で快適な空間を提供してくれる移動手段はない。しかし、いざ預けるとなると無用の長物になってしまう。そんな状況の中で、クルマに乗っているいろいろな場所に行く。そうなるあらゆる場所に駐車場が必要になる。駐車場がなければ、路上駐車せざるをえない。

15

1 台のクルマが 1 日平均 3 カ所に駐車すると仮定しよう。駐車することを食事にたとえるならば、クルマも人間と同じように 1 日 3 食、食べて（駐車して）いることになる。現在も 6 大都市周辺だけで、約 300 万台のクルマが路上駐車している。そのほか、平均 1,400 万台のクルマが走っている。しかも、3 食でなく 5 食、食べているかもしれない。カップラーメンは 1 億食オーバーだとか 2 億食オーバーと言っているが、クルマでも同じマーケットがあることになる。

20

このようにクルマを人間として扱えば、いろんなサービスが生まれてくる。駐車場ビジネスは、人間を相手にしたサービス業なのだ。

25

(出所：『パーク 24 株式会社 30 年史』)

本ケースはパーク 24 株式会社の公表資料をもとに磯辺剛彦教授が作成した。本ケースはクラス討議の基礎資料として用いるもので、経営上の適切もしくは不適な状況を例示使用とするものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒 223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444, e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 磯辺剛彦 (2022 年 12 月作成)